

2021 年度 事業計画

1. 事業の概要について

(1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野で社会貢献活動をされ、顕著な功績をあげた京都と関わりのある（京都在住、活動の拠点や原点が京都にある等）個人や団体・グループを顕彰する。
- ・2021年度の京都ヒューマン賞の贈呈式は、2021年6月3日（木） 10:45～12:00 リーガロイヤルホテル京都にて開催する。なお、懇親パーティーについては、新型コロナウイルスの感染が収束していないことが見込まれるため、開催しないこととする。

(2) 助成事業

- ・当法人の事業目的に合致し、地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野において、原則として京都府内で社会貢献活動を行う個人や団体・グループに対して経費の一部助成を行うとともに、京都府内で子ども食堂を開設・実施している団体に対して、年間利用人数に応じて助成上限金額を設定し、その範囲内で年間運営費用の一部助成を行う。
- ・2021年度の助成事業予算について、一般助成は前年度実績(見込み)比1万円増の610万円とする。子ども食堂関連の助成予算は、新型コロナウイルス対策費用を考慮して助成上限金額を引き上げることにより、前年度予算比100万円増、前年度実績(見込み)比42万円増の550万円とし、助成事業の合計で1,160万円とする。
- ・助成は、複数の外部有識者による助成適正評価、専務理事の同意意見、理事長の決裁により実施する。

(3) 広報・宣伝活動

- ・当法人の事業内容について、ホームページ上での告知、マスコミ発表、Facebook や京都府のメーリングリストによる告知、オムロン基金の紹介チラシの配布を継続するとともに、子ども食堂助成制度については独自のパンフレットを作成し、関係先に配布していく。

2. 法人運営費用について

(1) 収支計画について

(収入)

- ・基本財産の運用益は、前年度比108万円減の348万円を見込む。
- ・オムロン株式会社株式20万株の配当金として、6月末および12月初めにそれぞれ840万円ずつ、年間合計1,680万円の収入を見込む。
- ・この結果、経常収益の見込みは、前年度予算より368万円減、前年度(見込み)比42万円増の2,028万円を見込む。

(支出)

- ・顕彰事業費（顕彰金、式典費用等）は 380 万円とし、前年度予算比で 190 万円減、前年度見込み比で 25 万円増とする。
- ・助成事業費は 1,160 万円とし、前年度予算比 100 万円増、前年度見込み比で 44 万円増とする。
- ・公益目的事業の管理費は、前年度予算比 68 万円減、前年度見込み比で 58 万円増の 302 万円とする。
- ・この結果、公益目的事業費の合計は 1,842 万円となり、前年度予算比 158 万円減、前年度見込み比 126 万円増となる。
- ・法人会計の管理費は前年度予算比 56 万円減、前年度見込み比 24 万円増の 243 万円とする。
- ・経常費用の合計は 2,085 万円となり、前年度予算比 214 万円減、前年度見込み比で 150 万円増となる。
- ・公益目的事業会計の収支相償については 23 万円の赤字、法人全体としては 57 万円の赤字の計画とする。一般正味財産の期末残高は 1,839 万円となる。

(2) 資金調達および設備投資

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。